

みなと区議会だより

港区議会
〒105-8511(専用郵便番号)
港区芝公園1-5-25
電話 (3578)2111(代)
発行部数 126,100部

2002年(平成14年)1月1日

<http://www.city.minato.tokyo.jp/gikai>

新年のごあいさつ



港区議会議長

島田幸雄

新年あけましておめでとうございます。

敬宮愛子内親王殿下のご誕生を心からお祝い申し上げます。

港区議会では、本会議において天皇后陛下並びに皇太子同妃両殿下に賀詞を捧げました。

区民の皆様方には、健やかな新年をお迎えにあられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年の日本経済は、景気回復と構造改革の実現を目指してありましたが、米国で発生した同時多発テロ事件や狂牛病の発生などの影響もあり、未だ不況を脱するには至っておりません。

今年こそ力強い回復を望むものであります。

このような状況の中、区議会と区は、連携を一層密にしなが、緊急特別融資による中小企業支援の拡大や都市水害に備えた透水性の道路舗装、高齢者等に対するゴミの戸別訪問収集の実施など区民の目線で施策を推進してまいりました。さらに、高齢化社会の需要に應えるため、未利用地の活用を図り、赤坂地区に特別養護老人ホームの建設を進めました。一方、都心回帰による人口の増加、交通網の整備、再開発事業の増大などは大きく人の流れを変え、低迷している景気の回復や区の活性化の契機になるものと考えます。

今後区は、地域特性に応じ、誰もが安心して住み続けられる施策を積極的に展開していくことが求められています。また、次世代を担う子どもたちのため、よりよい教育環境を整備していくことも必要です。

私たち区議会議員が目指すところは、区民福祉の一層の向上であります。区民の皆様にとって適切な施策が実施できる区政運営となるよう、区議会は、議決機関としての責任を果たしてまいります。

今年一年、区民の皆様のお一人おひとりにとって良い年であることを祈念し、新年のご挨拶とします。

議長
副議長

島田幸雄 渡辺専太郎 いのくま正一 秋元ゆきひさ 林田和雄 矢野健一郎 清水一郎 岸田東三 井上しげお 菅野弘一 藤田五郎 熊田ちづ子 鈴木武昌 小斉太郎 滝川嶂之 佐々木義信 鈴木洋一 水野むねひろ 杉原としお 星野喬 風見利男 藤本潔 湯原信一 大蔭幸雄 きたしろ勝彦 井筒宣弘 鈴木たけし 沖島えみ子 北村利明 山越高明 遠山高史 横山勝司 植木満 川村蒼市 真下政義

(議席番号順)

職員の期末手当を減額し、昇給停止を早める条例を可決
狂牛病対策に関する意見書を提出

● 第4回定例会会議日程 ●	
11月21日	運営委員会 本会議 会期決定 諸報告
11月22日	一般質問4名 運営委員会 本会議 一般質問4名 議案等 付託 決算特別委員会 の設置
26・27日	常任委員会 議案等の 審査
28・29・30日、 12月3・4日	決算特別委員会 運営委員会 本会議 会期延長 議案付託 決算特別委員会 総務、区民文教常任委 員会 議案等の審査
6日	決算特別委員会 常任・特別委員会 委員長報告、中間報告
7日	運営委員会 本会議
10日	敬宮愛子内親王の誕生 賀詞奉呈 議案等議決

港区海岸 2-5-15-405
電話 (3455) 7200

政府・与党社会保障改革協議会
がまとめた「医療制度改革大綱」
によると、サラリーマンなどの健
康保険の本人負担を現行2割から
3割に引き上げ、70歳以上の高
齢者については、外来医療費の自
基準を月収から年収に改めること
により、一部の人は増額になる。
また、中小企業に働く皆さんが
多く加入している政府管掌健康保
険の保険料についても引き上げが
予定されている。

己負担定額制の廃止、そして高額所得者については2割本人負担が導入されようとしている。

これらの改正を、政府は2000

国民負担の増大に直接つながる、医療制度改革については、国民各層から批判の声が広がっている。

3年度からの実施を予定している。

一方、サラリーマンなどが毎月支払う健康保険料も、算定方式の

港区議会は医療制度改革に対し、より慎重な対応を強く求める。

内閣総理・厚生労働大臣、衆議院・参議院議長 あて

精

神障害者の自立と社会参加へ向
け、体系的な施策を進めよ

港区民クラブ

質問 平成5年、初めて精神障害者が障害者として法律上位置付けられた。そして平成7年、やっと精神障害者の自立と社会参加への援助が精神保健法で明確にされた。こうした法的整備の遅れは、そのまま具体策の遅れとなって表れている。身体障害者や知的障害者に対する支援が着実に充実が図られているのに比べ、精神障害者への支援はなら体系的な対応がとられていない。(1)区内の精神障害者の現状をどのように把握しているのか。(2)精神障害者の社会復帰と自立のため、また心のバリアフリーを進めるため、どのように体系的に支援を進めるのか。



▲すべての公共交通のバリアフリーが望まれる

公共交通のバリアフリー化推進

質問 (1)正確な実態把握は難しいのが実情。区精神保健福祉連絡協議会の調査によると、区内の精神障害者は中高年の方が多く、家族に支えられて生活しており、現在の援助者を失った後の生活に不安を抱えている。(2)14年度から施行される精神障害者社会復帰適応訓練事業の一環として、区も精神障害者ホームヘルプサービス事業を検討している。この事業の評価や精神障害者本人・家族の意向調査結果、さらに関係者からの意見を踏まえ、将来に向け検討する。

代表

11月21日・22日

一般質問

(要旨)

質問 今定例会は、いわゆる決算

質問 今定例会は、いわゆる決算

質問 今定例会は、いわゆる決算

質問 今定例会は、いわゆる決算

質問 今定例会は、いわゆる決算

質問 今定例会は、いわゆる決算

議会であり、原田区長が初めて舵を取った12年度の区政をあらためて検証することになる。区政運営の状況を定款確認し、今後の施策展開へとつなげていくことの意義は大きい。人の体に例えれば、定期検診のようなもの。無駄な贅肉を落とすしながら、体内への負担を軽減し、環境変化に耐えられる、より柔軟で強固な体を目指す必要がある。区長の12年度決算に対する評価と認識は。

質問 12年度決算の経常収支比率は78.4%と、7年ぶりに適正水準に達し、大きく改善することができた。しかし、歳入が一時的に増加したためと思われるので、引き続き財政構造の質的な改革を進め、安定した区政運営のための基盤づくりに取り組む。

質問 少しい財政状況が良くなったからと油断して、行革へ取組む姿勢が後退してしまうのでは、と懸念を抱いている。これから質的な改革にシフトしていくべき。区民がアイデアを述べる場をつくり、施策に反映させていくことがポイント。理解の得られないものや、二重と乖離したものでは何のための改革かわからない。今後の行革方針に、区民の声をどうやって反映させていくのか。

質問 今年度は、三田線三田駅・千代田線赤坂駅・JR新橋駅でバリアフリー対応のエスカレーター・エレベーターが完成する予定。また、ノンステップバスが、田87系統(田町駅・渋谷駅)にも配車される予定。今後とも、交通事業者へバリアフリー化推進を要請し、区も道路の改良等に協力する。

質問 今年度中に策定する予定の行政改革大綱は、これからの区政運営の羅針盤となるものであり、その策定過程に区民の声を十分反映させることが必要。現在、行革をテーマに区政モニター・アンケートを実施中。区政モニター懇談会も予定しており、一層の区民意見の反映に努める。

質問 「たかがカラス」と高をく



▲浜二用地と交換が予定される芝公園用地

質問 質問に先立ち、今年こそ景気回復を期待したが、その明

質問 質問に先立ち、今年こそ景気回復を期待したが、その明

質問 質問に先立ち、今年こそ景気回復を期待したが、その明

浜

松町二丁目用地交換での区長手腕
発揮を評価

自民党議員団

質問 今年度中に策定する予定の行政改革大綱は、これからの区政運営の羅針盤となるものであり、その策定過程に区民の声を十分反映させることが必要。現在、行革をテーマに区政モニター・アンケートを実施中。区政モニター懇談会も予定しており、一層の区民意見の反映に努める。

質問 今年度中に策定する予定の行政改革大綱は、これからの区政運営の羅針盤となるものであり、その策定過程に区民の声を十分反映させることが必要。現在、行革をテーマに区政モニター・アンケートを実施中。区政モニター懇談会も予定しており、一層の区民意見の反映に努める。

自民党議員団
代表一般質問

(3ページ下段より続く)

一部を改正する法律」が施行された。社会福祉制度は、少子高齢化の進行、家庭機能の変化、社会福祉に対する国民の意識変化などを背景として、従来の行政による保護救済を柱とした「措置制度」から自ら選択し利用することが出来る「契約制度」への転換が図られている。今後、利用者個人が人としての尊厳をもち、住みながら地域で生きがいのある自立した生活を実現できる地域福祉の仕組みを構築していくことが必要だ。

障害者福祉制度は、平成15年度から「契約制度」への転換が予定されている。障害者が生きがいをもって住み慣れた地域で、生活が続けられる施策の推進が求められている。そのため、今後の障害者施策には①自宅での生活を支えるホームヘルプサービス等の充実②生きがいを持てる活動の場の確保③親なき後の対策としてグループホーム等の整備が重要な課題と考える。

しかし、グループホームは、港区をはじめ都心区では、施設整備費や管理運営費など経費負担が大きく、都の補助制度のみでは、法人による整備は困難な状況にある。今後、都の補助制

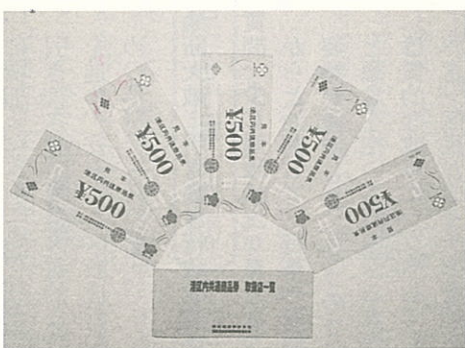
度のほかに、区として社会福祉法人等を支援し、運営補助制度を創設するなど区内でグループホームの経営に組みやすい仕組みをつくるべきだ。

答弁 障害者が「住み慣れた地域で生きがいのある自立生活」が可能となる施策の推進が重要な課題と認識している。そのため

介護保険の軽減策は「貯金額300万円以下」条件をなくすなど改善せよ

共産党議員団

質問 区民の声に押されて10月から実施した軽減策を真に生かすために早急に改善が必要だ。(1)貯金額300万円以下としている条件についてはなくすこと。(2)老齢福祉年金受給者、住民税非課税者へも対象を拡大すること。(3)保険料の滞納者についてはきめ細かな納付相談に応じ、軽減策の対象者にすること。(4)軽減対象となる方には、申請用紙の郵送も含め、個別に知らせ、軽減が受けられるかどうかの相談に応じること。



▲えっ、お店が2%の手数料を負担するの

答弁 (1)葬祭、入院等の緊急時に要する費用を考慮して設定したものであり、公平性の観点から妥当だ。(2)一律に拡大することは考えていない。(3)滞納者を軽減の対象とすることは考えていない。(4)事前に対象者を特定することは難しく、個別の勧奨は困難。

商品券支援事業費を削減するな
質問 区の事業費削減で、プレミアムが10%から5%に削減され、10月からは商店が2%の手数料を支払わなければならない。すでに282店が商品券の扱いをやめた。事態は深刻だ。(1)この事態をどう認識しているか。(2)商品券支援事業費を20

にもグループホームの整備促進は、重要な施策と考えている。現在、都の補助制度はあるが、区内での社会福祉法人等による整備は進まない。グループホーム整備促進のため、社会福祉法人等が取り組みやすい環境づくりに向け、検討する。

00年度水準に戻すこと。(3)商品券事業が安定運営できるよう、運営費への新たな助成を行うこと。

答弁 (1)連合会の自主・自立的な取組や努力を大いに評価したい。(2)連合会と区が十分協議して決定したことだ。復活することは、適当でない。(3)当面見守り、新たな助成は考えてない。

介護保険で解決できない高齢者の支援
質問 緊急時の施設入所の対応や、介護保険サービスにつなぐまでの対応、財産に関する問題、困難ケースへの対応、介護保険の認定を受けても介護サービスを受けられない高齢者への支援などは在宅介護支援センターや民間のケアマネジャーでは対応しきれない。区に専門相談

員をおくなどの体制をつくり、具体的な支援策を早急に実施すべき。

答弁 第一義的に在宅介護支援センターが担うべきものと考えている。

機械的な国保の資格証明書交付はやめよ
質問 国は昨年4月から特別な事情がないのに保険料1年以上未納の世帯に対し、被保険者証の返還を求め、資格証明書を交付することを決めた。生活苦、収入減などにより、払いたくても払えない世帯に機械的に資格証明書を交付すべきではない。懇切丁寧な納付相談を行うべき。

答弁 被保険者と面談の上、個別の事情を聴取し、慎重に交付決定の有無を判断していく。

保育園の廃園や民営化はやめよ

質問 (1)未来を担う子どもたちの施設は、民営化すべきでない。(2)待機児童が年々増加している中で、区立民営化保育園の廃園は行わなければならない。(3)待機児童の実態に見合った、公設・公営の保育園増設計画をただちに作ること。

答弁 (1)民間活力の適切な活用を積極的に検討していく。(2)地域における当面の保育需要の推移を推計し、統合することとした。(3)多様な実施主体による、保育の受け皿づくりを積極的に検討していく。

無担保・無利子融資など狂牛病対策を

質問 現在の融資では、狂牛病で苦しむ業者の救済はできない。(1)国の責任で補償するよう強く要求せよ。(2)国・都の融資の利子補給を。(3)無担保、無保証人・無利子融資などを早急に実施すること。(4)狂牛病に関する正確な情報提供を迅速に行うこと。

答弁 (1)国の対応を見守る。(2)慎重な対応が必要だ。(3)新たな融資は考えていない。(4)正確・迅速な情報提供に努めていく。

高輪1丁目の超高層ビル計画見直し

質問 住友不動産(高さ125m)、長谷工コーポレーション(高さ153m)の2件の超高層ビル建設計画で、付近は低層の住宅が多い。(1)近隣住民との話し合いをきちんと行い、合意がなしに着工しないよう強力に指導すべき。(2)住友計画と長谷工計画の総合アセスを事業者に行わせ、その結果を公表すべき。

答弁 (1)誠意ある話し合いを重ねた上で協定書を締結するなど、住民に配慮した対応をするよう建築主を指導していく。(2)事業者から「独自に検討を行い、結果を周辺住民に説明する」と回答があった。

読

書を通して自分の生き方を考える／測り知れない教育効果が！



▲教室で本の読み聞かせに聴き入る子供たち

質問 活字離れが指摘される。今、読書が持つ教育効果について問う。区では平成12年度から「朝の読書」や「子供に本を読み聞かせる教育活動」を推進している。(1)この読書教育の評価は。(2)小学校ではほとんどが採

建築確認申請前の報告書は住民合意で
質問 建築確認事務が民間の「指定確認検査機関」でも行われるようになり、住民への説明の最中に確認申請を行うケースが増え、紛争が拡大している。確認申請前に提出される報告書については関係住民との合意をもとに提出するよう指導すること。

答弁 良好な近隣関係を保持していくために、相手の立場に立つた分かりやすい説明を行うよう、指導していく。

すべての駅にバリアフリー対策を
質問 (1)JR、地下鉄駅にエレベーターやエスカレーターなどが設置されていない駅を調査すべき。(2)設置、改善を要請すべき。

答弁 (1)実態調査を進めており、公表も検討する。(2)必要に応じ、交通事業者に要請する。

公明党議員団

用いているが中学校では1校のみ。各中学校が読書指導に取組めるよう一層の指導の充実を願いたい。(3)学校図書館の充実のために、区立図書館と「図書検索システム」で結び、子供たちが自由に読みたい図書を捜し出せるよう、システムの構築に取り組むべき。

答弁 (1)「話をよく聞くようになつた」「生活態度に落ち着きが出た」などが学校から報告されている。(2)読書は生徒たちの情操を養い感性を磨くとともに、学力の向上にも役立つ。14年度には全ての中学校で、朝読書の実施や具体的な読書指導の充実を図る。(3)現在の図書検索システムでは、学校と区立図書館をオ

ンラインで接続することは困難。今後、どこからでも図書資料を検索できるシステムを検討する。

大きな節目を迎えた住宅政策

質問 11月に、第2次港区住宅基本計画の骨子が発表された。住宅政策の形成について大きな転換を迎えたところだ。(1)行政が担うべき役割を改めて確認する。(2)港区住宅公社の充実強化と併せて、適正家賃の賃貸住宅の供給を実施したい。

答弁 (1)基本計画に基づき、良質な公的住宅や民間住宅の確保・量的拡大や、住環境の維持・向上など具体的な定住施策を推進していく中で、誰もが「安心して住み続けられるまち」の実現に努めたい。(2)区民向け住宅、都営・公社住宅、公団住宅などを含めた、総合的な情報提供について更に進め、港区住宅公社と区との役割分担を見直していく。

高度情報化の推進について

質問 住民基本台帳ネットワークは行政サービスを提供する上で、多くの可能性を含んだシステムだ。反面「個人情報保護」という点では課題がある。(1)従来の個人情報保護条例で対応できるのか。住民サービスの向上と個人情報保護の両立について、どんな対応をしていくのか。(2)区民に利用し易い行政窓口としてのホームページの、今後の具体的な充実策を。(3)港区情報化計画の今後の推進についての見解は。

答弁 (1)ネットワークの不適正利用には、法令により厳正に対応していく。保護対策として、専用回線の使用や不正侵入防止機能の設置、運用管理規定の整備等を図り住民票の写しの広域交

(4ページ下段より続く)

付等、区民サービスの向上に努めたい。(2)行政情報の窓口としての機能を付加するとともに、充実も重要な課題だ。具体的には他のホームページとのリンクを充実させ、利用価値の高いものにしたい。(3)今後国の電子政府、都の電子都庁への動向を踏まえ、電子自治体へ向けて新たな「港区情報化計画」を策定する予定。

電子入札で入札制度の改革を

質問 既に他の自治体では、「談合入札」の予防など、入札・契約手続きについて、「透明性・客観性・競争性」を高めるための措置がとられている。港区においても早急に電子入札等で改革をされたい。(1)「建設工事等・入札契約制度検討委員会」では何を指すのか。(2)工品品質の向上も重要な課題。契約管財課以外の関連部署との一体的な取組が大切だが、技術者の育成と体制づくりについて伺う。

答弁 (1)入札、契約制度の改善策等を検討するために設置した。来年2月に中間のまとめを行う。電子入札制度も導入に向けて検討したい。(2)施工業者を工事成績など一定の基準で評価し、業者選定に反映させる仕組みづくり等を検討する。また技術系職員に最新技術習得の研修を行っている。今後とも一層の適正化に努めたい。

痴呆性高齢者のグループホーム

質問 「港区保健福祉の新たな展開」においても、具体的な施策・計画の展開がなかった。痴呆性高齢者にとり家庭的なグループホームでの生活は、落ち着いた環境を取り戻し、徘徊の程度も少なくなるという効果が得られる。今後基本計画の改定の中で具体的に盛り込み、区が関わる形での整備に早急に取組んで欲しい。

答弁 区の関わり方や整備手法を具体的に検討し、現在審議中の基本構想を踏まえ、改定基本計画に盛り込んでいきたい。

税

の無駄遣いは許さない！行政と区議会とともに聖域無き改革を！

自民党維新の会



▲議会改革を議員から始めよう

質問 小泉総理は「改革無くして成長なし」と聖域なき改革を主張した。地方自治体レベルから

も、慣例や前例にとらわれることなく納税者である区民の視点に照らし、改革を進めるべきだ。小さな政府を目指し、税の無駄遣いを許さない。「聖域なき見直しの港区版」の実行だ。区民から批判されるような慣例や慣習はないか。行政に求めるだけでなくまず議会から始めたい。具体的に政務調査費、日額旅費、付属機関の委員報酬の見直しと、議員報酬の一部削減に関し、不況の今だからこそ区民と痛みを共有し、検討を図るべきである。

答弁(議長) 議会改革については

幹事長会等で各会派に諮っていききたい。

新再任用制度で技能系職員は

質問 公務員制度の改正で14年度から新たな再任用制度が始まる。(1)技能系職員と行政系職員の人員費は。(2)職員定数削減計画に関連し定数はどのようになるか。

答弁 (1)技能系職員、行政系職員ともに再任用職員は、定年前職員と同様に本格的業務に従事する。給与は退職時の職務の級と同等以下の級に任用し、それぞれ独自の額を支給する。(2)再任用職員も定数に含めるため、定数削減計画の着実な実現が図れ、人件費抑制にもつながる。

中小企業融資基金とペイオフ対策

質問 港区でも「ペイオフ対策検討委員会」からの報告書が示されたが、地方自治体の公金預金の安全性を考え、ペイオフに向けての対策や準備をする必要がある。地元信金・信組の今までの実績や役割に配慮し、中小企業融資の維持・推進を図る上でペイオフ問題の見解を述べよ。

答弁 平成14年度からペイオフが実施される。区は中小企業対策として、区内の信金・信組も含めた金融機関に基金を預託し、金融機関が融資を実行している。今後とも安全性確保はもとより、制度融資のための預託金としての性質も配慮しながら、公金管理の運用基準を策定していく。

新たなサービスの担い手を作れ

質問 改定作業中の港区基本構想に関連して(1)あらためて将来の人口予測と、目標人口の設定について伺う。(2)時代の流れに合った行政サービスに民間やNPO

〇等が担い手となるべき。

答弁 (1)21世紀を見据え、区の人口の推計が必要であることは言うまでもない。適正規模や誘導すべき人口を示すことは適切ではないが、想定される人口の推計は行うべきと考ええる。現在住民基本台帳に基づく詳細な分析過去のトレンド、更には各地域で計画されている再開発事業等を加味した科学的な人口推計を行っている。近々報告する。(2)各種の施策について、多様な担い手と協力しながら実施していくことが今後の課題。また市場原理により民間に委ねるべきものは、思いきって民営化するということも必要である。基本構想を策定する際には基本的な考え方を示したい。

私立も含めた幼保一元化を

質問 千代田区の子ども園構想や

世

界ナンバーワンを目指すのか

質問 以前の同様の質問に対し、世界ナンバーワンは区政のビジョンと明言した。私はビジョンにも目標にもなり得ないと考え

答弁 区長がリーダーとして、区政の明確なビジョン、方向性、具体的な政策を打ち出すべき。世界ナンバーワンを目指すとは、世界から敬愛をもたれ注目されること。環境・福祉・教育の分野でも高い水準を達成できる自治体を目指す。

リーダーシップを発揮するには

質問 区長が何を指すのか明確でない中でどんなリーダーシップを発揮するのだろうか？基本的考え方を問う。

答弁 行政財政改革の更なる推進や

今後のまちづくりの考え方は？

質問 最近の港区における開発ラッシュには一抹の不安も感じ

答弁 (1)少子化が進む中、次代を担う子どもをより良い環境のもとで健やかに育てていくことが、最重要課題の一つ。公・私立の幼稚園や保育園の役割分担について議論を深め、区民の期待に応えたい。(2)認証保育所制度など民間を活用した多様な方策についても、検討したい。(3)現在、区長部局と「幼保一元化検討会」を組織し検討している。私立幼稚園と連携した幼保一元化も検討していきたい。

都心区にふさわしいとは？

質問 世界に開かれた国際都市港区に相応しい品格を持つ街となるよう将来像を見据え、長期的な展望を視野に入れた街づくりをしていく。

質問 国際スタンダードとは？

答弁 国際スタンダードは、様々な分野で様々な物差しがあると思う。具体的には、いろいろな形で区民の方や議会の中で議論いただく中で示していきたい。

土地交換の際は情報開示を／芝公園四丁目用地の活用／児童虐待防止／職員のサンダル履き／談合防止策

質問 (1)交換にあたっては、評価額や交換条件を区民と議会に明らかにすべき。(2)芝公園四丁目少年運動広場の利用者や公募区民による公聴会を設け、意見を聴くべき。(3)児童虐待防止に関する国の通知が所管に届いていなかった。区の虐待防止対策の推進が遅れたのでは。また、区長は児童虐待問題をどう受け



平成12年度決算特別委員会

＝各会計決算の概要＝

(円)

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	830億 574万	757億6,840万	72億3,734万
国民健康保険事業会計	121億1,489万	118億6,717万	2億4,772万
老人保健医療会計	138億5,634万	138億5,634万	0
介護保険会計	53億9,327万	50億3,987万	3億5,340万
合計	1,143億7,024万	1,065億3,177万	78億3,847万

(注) 計数については、表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。



11月22日の本会議において、全議員35名で構成する「平成12年度決算特別委員会」(熊田ちづ子委員長、真下政義副委員長、遠山高史副委員長)を設置し、11月22日から12月7日まで審査が行われました。

特別委員会では、平成12年度各会計(一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、介護保険会計)歳入歳出決算の4案に対する活発な質疑を行った後、各会派の態度を表明しました。

その後、第4回定例会最終日の12月10日、本会議において、決算4案をそれぞれ賛成多数で認定しました。

各会派の主な質問・要望事項

港区民クラブ

歳入 区民税の滞納を減らし公平な税制を図れ **総務費** 伊豆健康学園の跡地を特養ホームにしたかどうか 夏・冬・春季の借上げ保養施設の補助金の差が大きすぎるのでは正すべき 大平台みなと荘の施設運用について

民生費 無料入浴券支給方法の改善と適正配布について 少子化対策基金の活用実績と今後の少子化対策について 区民葬をもっと区民に知らせるべき 保護司会について、より積極的に支援をすべき 学校週休二日制の導入にあたって児童館の土曜日の運営について 児童館を地域の拠点に **衛生費** 精神障害者対策(福祉的施策の検討)について 性感染症対策について 産業経済費 忠臣蔵三百年祭について、具体的に説明せよ **土木費** マンションの広告が電柱に多く見受けられるが許可の関係はどうなっているか オートバイの違法駐車について 路上パーキングの設置について コミュニティ道路の設置について 個性ある地域の基盤整備について **教育費** 中高一貫教育について 小・中学校の臨海学園を復活する考えはないか 中学校の学区自由化について 教育費において不均衡が多いがその内容について スポーツ振興策について その他 ベイオフについて 介護保険の苦情解決への対応及び介護サービスの質の向上について ケアマネジャー団体組織づくりの提案

自民党議員団

歳入 ペイオフ対策と公金の保全 中小企業育成と信金・信組の役割ととるべき方策 **総務費** 住民サービスとITの活用について 人材育成基本方針の策定後の具体的な取り組みについて **都市環境費** 家電リサイクル法施行により家電廃棄処理量は改善されるか カップメン容器を草の原料で製造をダイオキシンを出不さない不燃ごみ焼却炉について 台場の底生生物調査結果と今後の海の環境浄化について 環境美化推進協議会とピンクチラシ回収BOX設置について 燃えないゴミ廃プラの焼却と最終処分場 生ゴミ収集対策としてデイスボージーシステム導入について **民生費** 高齢者福祉資金貸付制度の実施に

共産党議員団

大企業が占有することで得る利益にふさわしい占用料に 固定資産税減税の区民大会開催を 高輪台小学校の設計契約での区長と業界の癒着問題 消防団整備の補強を 浜松町2丁目区有地の活用と国際興業用地との交換の是非を区民に聞け 両用地の鑑定結果を公開せよ 不適正な分割発注改善を 建築説明会が条例に沿っていないか確認を 建築確認申請は要綱に基づく協議の有無を確認せよ 住環境保全のため騒音・振動等の区独自規制を 環状2号線計画の情報を事前に関係者に提供を 旧神明小学校跡地住宅は区民向け住宅に 高齢者インフルエンザ予防接種の自己負担軽減と

公明党議員団

男女共同参画社会の推進、男女平等条例の制定、町会・自治会の強化策、統合型地図情報システムの構築、今後の地籍調査 **都市環境費** 住宅取得支援事業を利用しやすく、住宅基本計画はファミリー世帯を中心にして多様な世帯を対象に、用途地域の見直しは定住を基本に、景観行政の強化と専門アドバイザーの活用、区独自の騒音規制の作成 **民生費** 土日・夜間対応の児童館・保育園の体制づくり、障害者のグループホームの設置・支援、介護保険

自民党維新の会

歳入 特別区民税の徴収は徴収率上位の区に学べ! ペイオフ対策として、制度融資預託金に関する今後の基準づくり 実質的には依然として厳しい財政運営、今後の見とおしは **総務費** 庁有車削減の進捗状況 庁舎の光熱水費の削減目標は5%に 技能系職員の身分も公務員でなくてはならないのか 委託の可能性の検討が必要 議員が付属機関のポストに就いた場合、別途報酬が必要だろうか? **民生費** 児童館・保育園で元気な高齢者と児童の交流を図る取組を **産業経済費** 年末特別あっせん融資は来年もぜひ実施を! 小規模企業緊急救済融資は制度の充実が望まれる 融資返済の繰延べは1回(6ヶ月)だけでなく、複数回認めしてほしい **土木費** 都の屋上緑化方針を受けて港区は? **教育費** 幼保一元化への決意 道徳教育の進捗状況 **総括** 議会改革で区民と傷みを共有する

みなとかがやき

行政改革の取組が停滞する中、区長の指導性の検証をはじめ、様々な具体的提案を行った。(1)ガマ池問題等、区長は自らの発言と行動に責任を持って、それがリーダーシップの大前提。(2)区民向け住宅の家賃滞納額は六千万円以上。公正を保つために滞納整理を早急に進めよ。(3)学校給食は一食あたり約二千元。職員給与は平均七百万超。直営から民間委託すべき。(4)小諸高原学園の実質稼働は半年。維持経費よりも高い人件費四千万円。改築より廃止へ。(5)NPOと協働を謳いながら担当部署もない。積極的連携を図るため一部業務を委託せよ。(6)待機児童ゼロ作戦は預ける側の都合優先の論理。預けられる子ども視点に立った保育施策を。

一票の会

浜二と交換する芝公園の半分は少年運動場に職員サンダル履きはやめよ 防災用品購入は適正価格で 児童虐待防止ネットワーク事業等実施には正確な情報提供を 泉岳寺駅へEV等設置 スポーツ施設等の運営に区民協働の導入 子供ふれあいトークでの提案に真摯な対応を

●監査委員の審査意見●

平成12年度は、地方分権一括法の施行、清掃事業の移管等都区制度改革の実現、介護保険制度の創設など、区の行財政運営にとって歴史的な節目となった。

各会計における財政運営については、「港区財政運営方針」の初年度として財政の健全化に取り組み、財政調整基金などに頼らない財政運営を実現した。

個人消費や設備投資が低調に推移するなど経済全体が冷え込むなかで、区を取り巻く財政環境は、引き続き厳しいものと思われる。

こうした状況下で、本区の財政指標は、経常収支比率が、平成8年度の96.6%から78.4%に回復するなど、区財政は短期間のうちに改善した。

しかし、これらの改善は、特別区税、財政調整交付

金の増収等、一時的な要因に基づく歳入増加による側面があり、不安定な歳入状況等を勘案し、引き続き財政基盤の安定化に努める必要がある。

清掃事業の移管、介護保険制度の創設等の新たな行政需要はもとより、少子・高齢化社会への対応、地域社会の自主性・自立性を目指す区民との協働、きめこまかなサービスの提供を中心としたソフト重視の事業への移行など、行財政の構造改革が求められている。

財政状況が改善したこの機会を見逃すことなく、「やわらかな生活都心—住みつつけられるまち・港区—」の実現を目指し、ゆるぎない区財政の構築を図るとともに、港区の地域特性に応じた先駆的な施策の展開に努められたい。

◆議案等の審議結果 各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

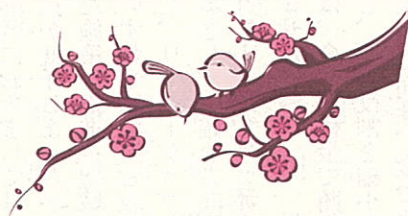
案 件 名	自 民 党 議 員 団	港 区 民 ク ラ ブ	共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	自 民 党 維 新 の 会	み な と か が や き	一 票 の 会	議 決 結 果
専決処分について(損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分について(損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	承認
港区立港南集会所条例を廃止する条例 〈港南集会所の廃止〉	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
港区立福祉会館条例 〈(1)みたて福祉会館の廃止(2)規定の整備〉	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
港区立港南健康福祉会館条例 〈港南健康福祉会館の設置及び管理運営に関する事項を定める〉	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区立保育園条例の一部を改正する条例 〈(1)港南保育園の位置及び名称の変更(2)みたて保育園の廃止〉	○	○	×	○	○	○	○	原案可決
港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 〈(1)期末手当の引下げ(2)特例一時金の支給(3)昇給停止年齢の引下げ〉	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 〈(1)期末手当の引下げ(2)特例一時金の支給(3)昇給停止年齢の引下げ〉	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成13年度港区一般会計補正予算(第2号) 〈995万9千円増額 総額793億8,881万4千円〉 ●補正の主な内容 ネット接続型固定電話情報提供システム構築費の計上	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成12年度港区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	×	認定
平成12年度港区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	×	認定
平成12年度港区老人保健医療会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	×	認定
平成12年度港区介護保険会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	×	認定
特別区道路線の廃止について(東新橋一丁目、東新橋二丁目) 〈特別区道第47号線、第48号線、第50号線、第52号線、第53号線の5路線の廃止〉	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
特別区道路線の認定について(赤坂一丁目) 〈特別区道第1,144号線の認定〉	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
南麻布1丁目計画新築工事に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	採択
「シンシア白金高輪」ワンルームマンション新築工事計画に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	採択
「子ども達の遊び場の確保」に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	採択
港区麻布庭球場の利用方法の改善に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	採択
日本国憲法に基づく国の交戦・国家総動員・徴兵制施行に関する請願	×	×	×	×	×	×	×	不採択
天皇家の遺伝病に関する朝日新聞社による誤った記述の是正及び事実の公示等に関する請願	×	×	×	×	×	×	×	不採択
牛海綿状脳症(いわゆる狂牛病)対策に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
「交通バリアフリー法」の実効ある支援措置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
医療制度改革に対し、より慎重な対応を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
港区議会委員会条例の一部を改正する条例 〈出席説明の要求に外部監査人等を追加〉	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

「首都機能移転反対」についてご意見を

区では、「国民的議論が不十分」などの理由で首都機能移転に反対しています。また、特別区でも、区長会、議長会で移転反対の決議をしています。

現在、国では、「両院の国会等の移転に関する特別委員会」において首都機能移転について審議を進めています。

衆議院では「衆議院国会等の移転に関するアンケート」を実施していますので、皆さまも、この趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。



*衆議院による首都機能移転に関するアンケート【国民の意見募集】は次のアドレスへ
<http://www.shu-kokkaiiten.go.jp>
問合せ先／港区企画課(代表3578-2111 内線2086)

平成12年度決算に対する
各会派の態度表明

港区民クラブ

平成十二年度決算特別委員会でのわが会派からの質問・意見・要望を今後の区政に反映し、区民福祉の向上、教育環境の整備、行政改革の一層の推進が図られ、区民の誰もが将来に夢を持ってそれを語り継いでいくような、二十一世紀に相応しい区政運営を切望して、決算四案を認定します。

自民党議員団

本決算審議を通じ、わが会派は、歳入の増収や経常収支比率の適正水準化等、財政改革の成果を評価するとともに、将来への提言・要望をいたしました。本決算の結果に甘んじることなく今後も引き続き的確なる財政運営を行っていただくことを期待して、決算4案について認定いたします。

共産党議員団

最悪の不況の中で、区民、区内中小企業・商店、高齢者・障害者の方々が深刻な状況なのに、福祉、教育、中小企業対策を削減。一方、森ビルなどの大企業が進める市街地再開発事業への補助金の支出、十番駐車場への莫大な税金投入への反省はない。弱者切り捨ての決算4案は認定しない。

公明党議員団

平成十二年度決算四案につきましては、いずれも認定致します。
決算審議におきまして、わが会派の各議員から出された区民福祉の向上を願う提案・要望につきましては、来年度平成十四年度の予算執行にあたり、十分に反映されることを、強く望むものであります。

自民党維新の会

本決算審議の中でわが会派からの意見・要望を今後の施策に反映されることを期待します。
まじめな納税者の立場から、収入未済額の減少に積極的に努力されることが滞納者への対応を強く要望し、平成12年度決算4案についてはいずれも認定いたします。

みなとかがやき

さまざまな問題を通じ、区長のリーダーシップに対する疑念が生じている。これを払拭するには無原則な支出の増大を防ぎ、行政のあり方、民間との役割分担を抜本的に見直すことが急務。区民向住宅の家賃滞納が六千万円を超えるような行政運営を早急に改善する事も強く要望し、四案認定。

一票の会

昨年この欄に「来たる大増税時代に対応する役所の姿が見えてこない」と記しました。歳入の見直しとは、区民サービス予算等から削るのではなく(これなら誰でもできる)、内部組織(役所・議会)の徹底した効率化が前提と考えます。それが不十分な現状では4案いずれも認定出来ません。

新春を迎えて

各会派の抱負

各会派の連絡先

自民党議員団 (3578) 2927
港区民クラブ (3578) 2925
共産党議員団 (3578) 2945
公明党議員団 (3578) 2935
自民党維新の会 (3578) 2941
みなとかがやき (3578) 2928
一票の会 (3578) 2969

不在の場合は区議会事務局
(3578) 2920へ

港区民クラブ

謹んで新年のお祝詞を申し上げます。新春を迎え、区民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

あいつづ政府の経済政策にもかかわらず、昨年も景気の回復は依然としてみられず、さらに米国の同時多発テロの影響も受け、大型倒産・中小企業への貸し渋り等深刻な問題を生じています。本区財政における平成十二年度の税収は一時的に回復したものの予断を許さない状況にあります。

私も会派は「世界ナンバーワン都心区」を目指す原田区長を支える責任ある与党第一会派として、施策の是非を問いつつながら積極的な提言を行い、時には厳しくチェックしてまいりました。また、原田区長が新たに進める基本構想の策定にあたっては、未来を見据え二十一世紀に相応しい、夢のある内容となるよう、最大限の努力をしてまいります。ハードからソフトへの転換を図り、「世界に誇れる港区」にしなければなりません。港区は景気浮揚、若い人が住める総合的な定住対策、少子・高齢社会への対応、中高一貫教育の導入も含めた魅力ある教育環境の整備、環境対策等の諸課題に取組み八名が結束して、本年も身近な区政の推進、並びに区民福祉の向上のため、これらの施策の実現に向け区民の皆様とともに、励んでまいります。皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

自民党議員団

新年のお慶びを申し上げます。

昨年9月、マンハッタンの摩天楼を襲ったテロは、決して許される行為ではありません。テロ撲滅のため、日本も自衛隊の派遣など世界的な規模で協力を図っています。このテロの影響による国内外の観光客の減少や狂牛病問題による畜産農家への打撃、外食産業の客離れ等により、日本経済は一層深刻さを増しています。一方、イチロー選手が大リーグでア・リーグのMVPに選ばれたことや12月1日、皇太子殿下ご夫妻に敬宮愛子内親王様が誕生されたとのニュースは、閉塞感に覆われた昨年の最後を飾る明るい話題でした。

さて、バブル経済後の低成長時代に突入して10年が経過していますが、成長率が低くても幸福になれるのではないかと考える方も生まれています。GDPを中心とした成長指標重視の考え方を見直し、反省を促すよい機会です。これから将来を展望すると安定成長路線を重視した政策が、必要であると考えます。これまでの10年を無駄と考えるか、これからの日本の将来にとって良かったといえるか、大事な分岐点であります。また、高収入、利便性や効率性のみを追求してきた生活から豊かさ、ゆとりが感じられる生活や生活環境を優先しようとする意識の変化が生まれています。モノの豊かさのみだけでなく、心の豊かさをも実感できる年としてまいりましょう。

共産党議員団

新年おめでとうございます。

日頃から党区議団にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に心からお礼申し上げます。

昨年は、都議選で、あとうずかなところで議席維持まではいきませんでした。大きな支持をいただきました。つづく参院選では、東京選挙区で貴重な議席を守ることにできました。ご期待に応え奮闘する決意です。

小泉内閣は、アメリカの報復戦争への自衛隊の派兵やPKO法改悪の強行など、憲法を蹂躪しようとしています。テロ根絶は、武力ではなく国連を中心とした国際連帯でというのは、世界の世論です。国政では、不況、リストラ、医療制度改悪、狂牛病問題等々、国民犠牲を一層強めようとしています。原田区政は、芝公園の西武鉄道の超高層ホテル計画の推進、区民の財産である浜松町駅前の一等地と芝公園内の国際興業社有地の交換、市街地再開発への多額な補助金支出、十番駐車場への莫大な税金投入になんの反省もなし。一方、区税収入は増えているのに福祉、教育、中小企業施策等は削減したままで、大企業優先の区政であることが明らかになってきました。介護保険料・利用料の軽減も、区民の声に押されやうと実施しましたが、さらなる改善・充実が必要です。長期不況の中、区民生活を守るため、今年もがんばる決意です。本年もよろしくお願い致します。

公明党議員団

明けましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたりまして、敬宮愛子内親王殿下のご誕生を心よりお慶び申し上げるものでございます。

区民の皆様には、常日頃から、わが党にたいしまして、力強いご支援・ご厚情をいただき、衷心より御礼申し上げます。

昨年は、日本の二十一世紀の将来を決する都議選と参院選がございました。公明党は大勝利を得させていただきました。わが党に寄せいただきました真心からのご支援にこたえるべく、国民の皆様が目線にたった政策の実現に全力で取り組んでまいります。

港区は一時期、定住人口が十五万人を割りこむ状況でありましたが、最近回復の兆しがみえてまいりました。だれもが住みつけられるまち・港区を目指して、わが党は、適切な住宅対策を現実のものとするべく、さらに努力を続けてまいります。

少子高齢化対策の充実、不況にあえぐ中小企業・商店街対策、さらに教育・環境・まちづくり等の分野におきまして、解決すべき課題は山積しております。

現在港区の将来を展望した基本構想ならびに基本計画の改定が進められておりますが、わが党は、山積する課題の解決に、全力で取り組んでいく決意でございます。

区民の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。

自民党維新の会

明けましておめでとうございます。

区民の皆様には、心豊かな新年をお迎えになられたと思います。

我々自民党維新の会は、昨年六月、「聖域なき改革、聖域なき見直しの港区版」を実行し、小さな政府(港区役所)を実現する等を基本姿勢として、新たに会派を結成いたしました。

住民の代表としての議員活動の原点は、何よりも納税者の観点に立ち、住民福祉の増進を図ることにあります。我々は、小泉総理の掲げる「改革無くして成長なし」をモットーに、自民党議員として活動の第一線にある地方自治体からも今までの慣例や前例にとらわれることなく、区民と同じ目線で小さな自治体づくりを目指してまいります。そのためには、我々議員にとつて、痛みを伴う改革と言えども一つ一つ点検し、無駄のない港区を創り上げていくとあらためて決意を申し上げます。

さて、昨年は中小企業を支援するため、年末特別融資制度の実施を区長に提案し、実施してきたところです。また、少子化対策における幼保一元化を速やかに実現すべきと主張し続けております。

今後とも小・中学校の教育改革の推進、公正で効率的な福祉施策の推進、都心にふさわしい街づくりと環境保全の推進などの実現に向け、より一層努力してまいりますので、ご支持・ご支援の程お願い申し上げます。

みなとかがやき

新春にあたり、区民のみなさまにご挨拶申し上げます。

昨年は、国政においては小泉政権が誕生し、聖域なき構造改革の実現に向けてようやく動き出しました。内容は精査する必要がありますが、私たちは、『民間・地方に任せられることは任せろ』という大方針には大いに賛同しており、新しい国のかたちを創るための大前提であると思っています。

一方、港区におきましては、一昨年の民間出身の区長が就任しましたが、民間の発想を活かした施策の推進、聖域なき行政改革などは、いずれもほとんど成果が見られませんでした。また、リーダーシップという言葉のみが一人歩きし、明確な方向性を示した上での本質的なリーダーシップは未だに発揮されていません。

私たちは、全てを税金で賄う行政のあり方を転換し、その役割を縮小させる聖域なき改革の実現に向け、全力を尽くす決意を、今新たにしております。

一票の会

新年あけましておめでとうございます。

議会に参加する議員として2期目に入り、3年目の新年を迎えました。個人的にはこの間、2児の父となりましたが、議員としては十分な活動をしてきたのか、一人としての常識・普通の視点、感性というもの忘れてしまっていないか等、一年の初めに振り返ることが多くあります。しかし結論は出ません。ただ言えることは子ども達に後ろ指さされるようなことだけはしないという誓いです。